

袖口に調節タブつき

寸法

パターン上の寸法です。  
お使いの素材により  
仕上がり寸法が違います。

軽くて体温調節にとっても活躍するウィンドブレーカーアイテム  
です。アウトドアスタイルですが、普通の生地で、  
軽いアウターにもお使いいただけます。

	着丈	背肩巾	バスト	袖丈	ファスナー 寸法
140	57.5cm	36.5cm	88cm	48.5cm	50cm
150	60.5cm	38.5cm	92cm	52.5cm	53cm
S	67.6cm	42cm	106cm	61.0cm	62cm
M	71.1cm	44cm	112cm	63.5cm	65cm
L	74.7cm	46cm	118cm	66.0cm	68cm

用尺と必要材料

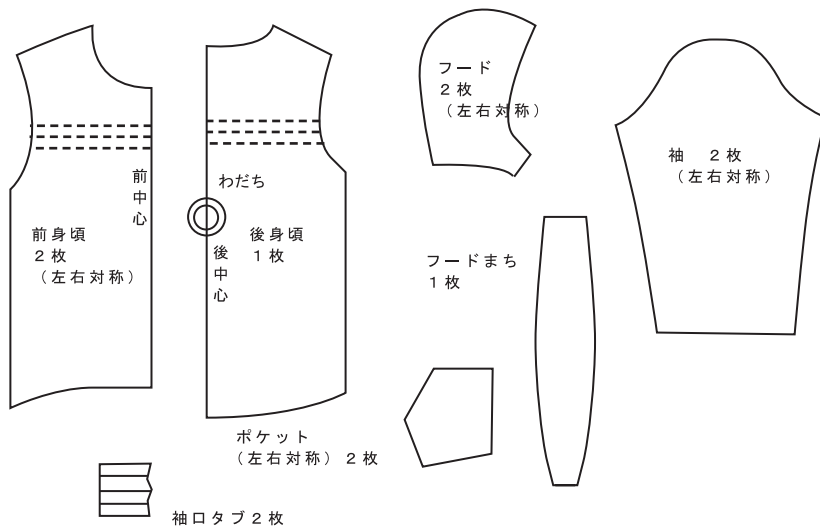
撥水、防水生地で作る  
場合、最後のページ  
「撥水素材の扱いかた」  
を参照してください。

	表地 (110cm巾)	2.5cm巾 マジックテープ (凸)	マジックテープ (凹)	オープン ファスナー 1本
140	1.9m	5cm (2.5cm×2)	13cm (6.5cm×2)	50cm
150	1.9m	5cm (2.5cm×2)	13cm (6.5cm×2)	53cm
S	2.2m	5cm (2.5cm×2)	13cm (6.5cm×2)	62cm
M	2.5m	5cm (2.5cm×2)	13cm (6.5cm×2)	65cm
L	2.8m	5cm (2.5cm×2)	13cm (6.5cm×2)	68cm

凹と凸で必要な長さが違うので注意

裁断と準備

配置によって用尺が足りなくなることがありますので、必ず型入れ（効率的に  
型紙を配置する事）をしてから裁断してください。また、  
柄合わせがある場合、更に用尺が必要になりますのでご注意ください。



■ パターンの他に裁断するもの

衿ぐり始末用バイアステープ (2.5cm巾)

- ジュニアサイズ 60cm
- メンズサイズ 65cm

フード口用バイアステープ (2.5cm巾)

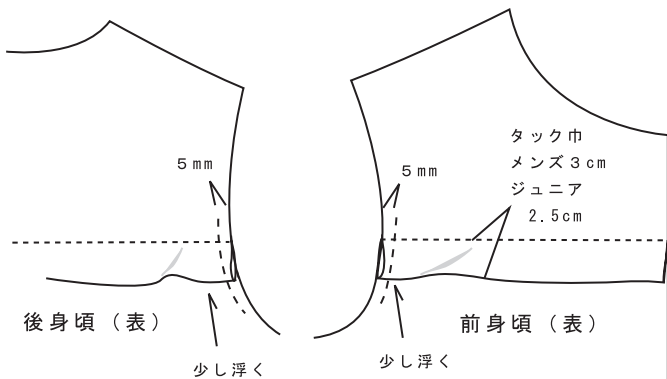
- ジュニアサイズ 80cm
- メンズサイズ 80cm

1 タックを縫います

前身頃、後身頃のタックを縫います。★位置で外表に山折りし、☆位置で2枚一緒に縫います。タックは下に倒します。



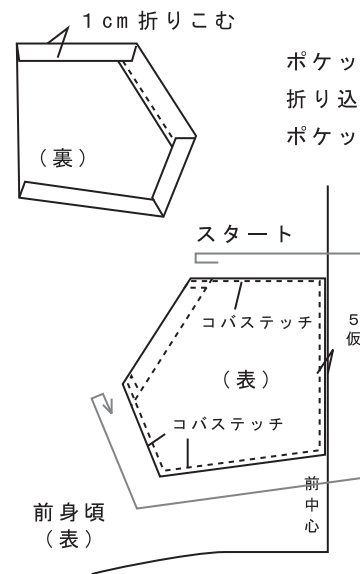
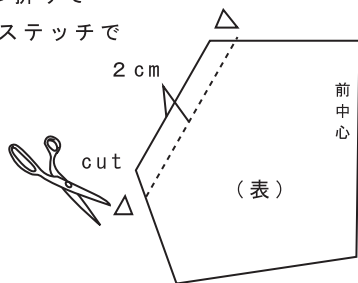
タック部分をたたむと、パターンの操作のせいで少し浮いたようになります。端から5mmのところをミシンで仮止めます。(理由は下)



仕上がり時、タック部分は、厳密にいうと身頃よりも外回りになるため、タック部分が横に引っ張られる形でツレてしまうことがあります。それを防止するため、外回り分のゆとりを入れておく事になっています。このゆとりをパターン上で操作しているので、たたむと自然に浮き分が出るようになっています。

2 ポケットを作る

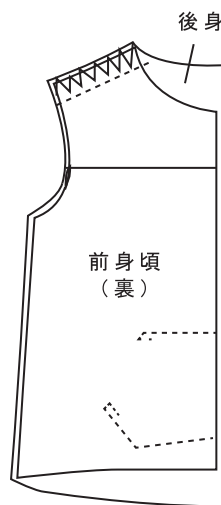
ポケット口を完全三つ折りで折り返し、2cm巾のステッチで始末します。折った時にはみ出る余分な縫い代はカットしておきます。



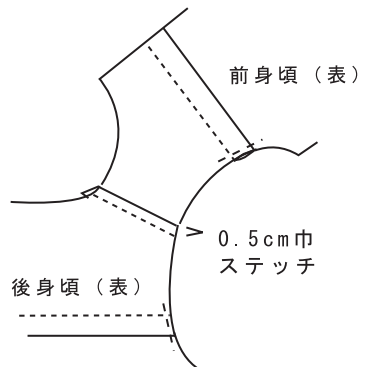
ポケット周りを裏側に折り込んで、前身頃のポケット位置に縫い付けます。

ポケット口からコバステッチで縫い進め、途中前中心のところは端から5mmのところを仮止めて、また残りのポケットつけはコバステッチで始末します。

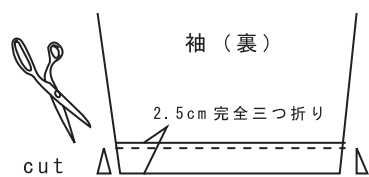
3 肩を縫いあわせませす



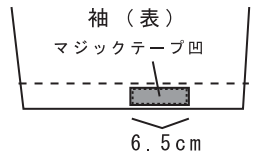
前後の身頃を中表に合わせ、肩を縫い合わせます。前身頃側を上にしてロックで縫い代始末し、縫い代は後身頃側に倒し、表から、0.5cm巾のステッチで押さえます。



4 袖口始末・タブ作り

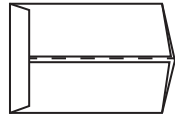


袖口は2.5cm 完全三つ折りでステッチ始末します。余分な縫い代はカットします。



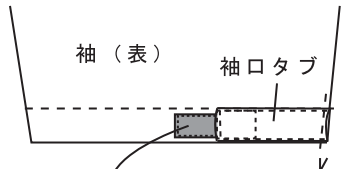
袖口のマジックテープつけ位置に、コバステッチで縫い付けます。(凹)

袖口タブを図のように  
できあがり折り、まわりを  
コバステッチでとめます。



マジックテープ (凸) をコバステッチでつけます。

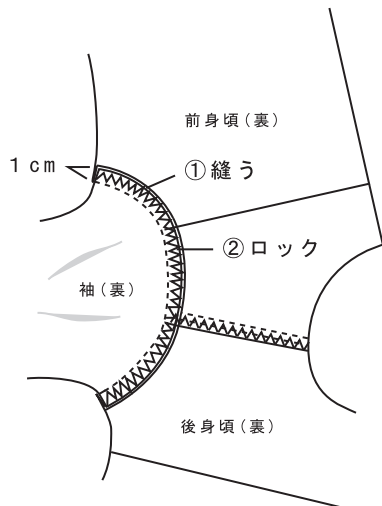
袖口タブの端を袖口に  
ぴったり合わせ、  
0.5cmで仮止めします。



マジックテープ (凹) が 0.5cm 仮止め  
見えている状態です。

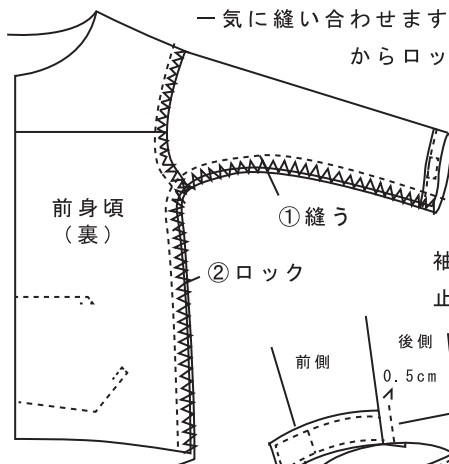
### 5 袖つけ

袖と身頃を中表にし  
合い印を合わせながら  
ゆっくりと中縫いします。  
逆カーブなので  
タックにならないように  
注意してください。  
縫い代は袖側を上  
にロック始末し、縫い代は  
身頃側に倒します。



### 6 袖下～脇縫い

袖口～裾までを中表に合わせて  
一気に縫い合わせます。縫い代は前身頃側  
からロック始末し、後身頃側  
へ倒します。



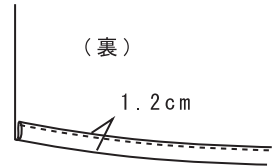
袖口に縫い代  
止めミシンをします。

止めミシン

《袖口》

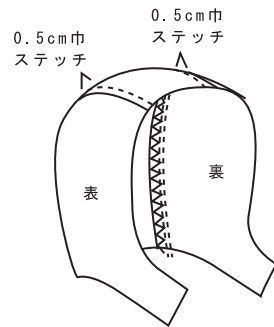
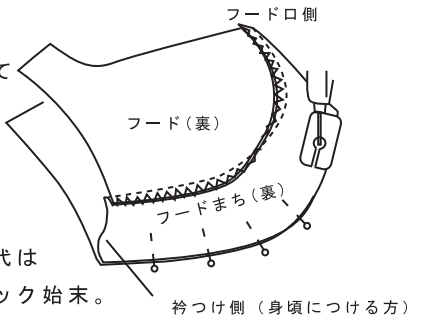
### 7 裾始末

1.2cm 完全三つ折りで  
始末します。



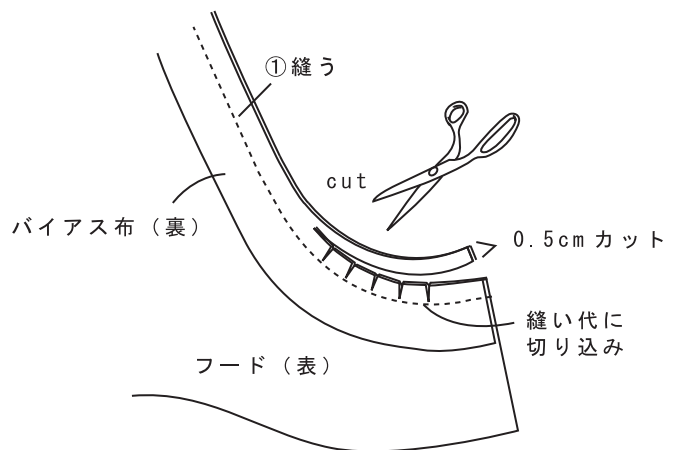
### 8 フードを作ってつける

フードの上にマチを  
乗せるように中表にして  
カーブに沿わせながら  
合い印をあわせて  
縫い合わせます。  
カーブがあるので  
慎重に縫います。縫い代は  
フード側を上にしてロック始末。

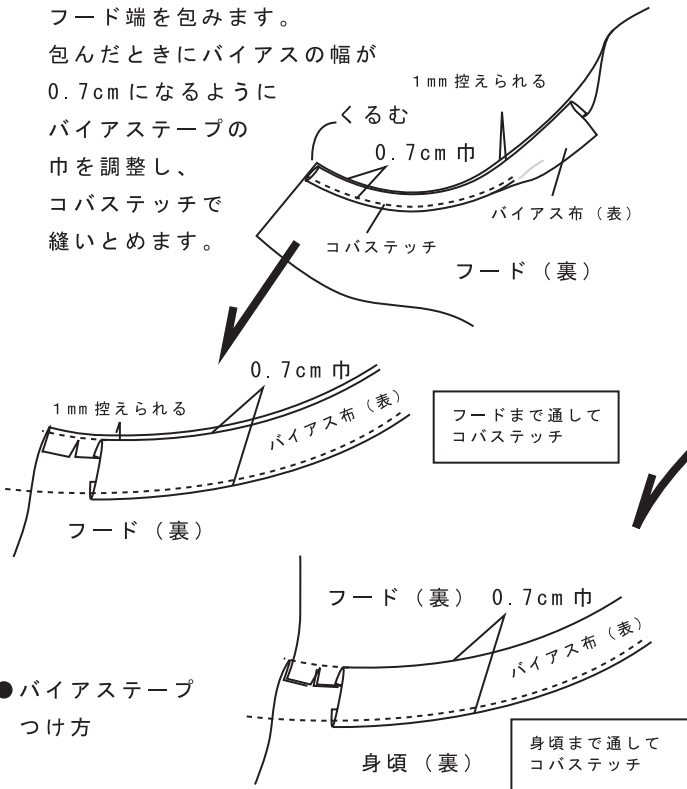


縫い代を、マチ側に倒して  
表から0.5cm巾のステッチで  
縫い代を押しえます。

フード口に、フード口始末用のバイアス布を、中表に  
合わせ、端から1cmのところを縫います。  
縫い代は0.5cm巾に切り揃え、カーブの強いところは  
1cm間隔くらいで切り込みを入れます。

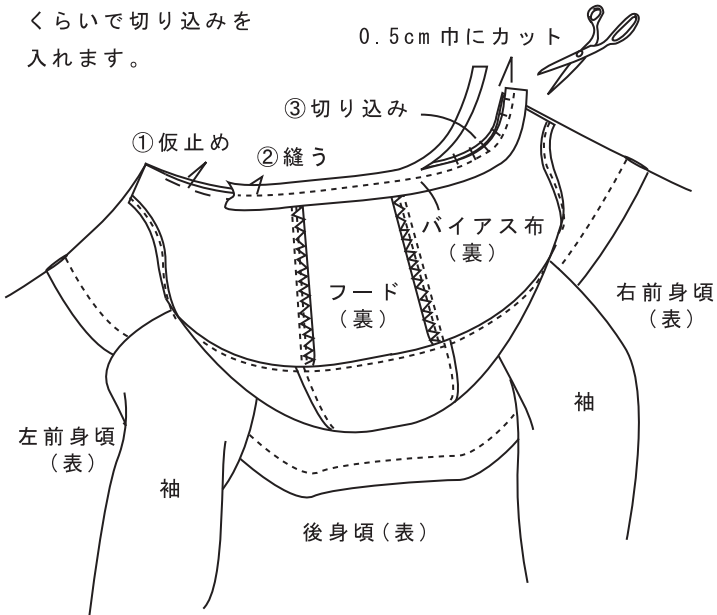


バイアステープを裏側へ折り返し、フード端を包みます。包んだときにバイアスの幅が0.7cmになるようにバイアステープの巾を調整し、コバステッチで縫いとめます。

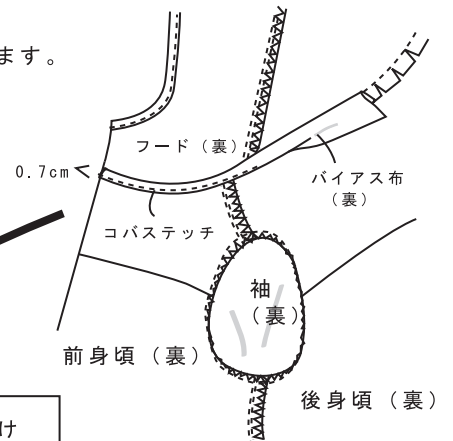


●バイアステープつけ方

フードと身頃を中表に合わせ、端から0.8cmのところを仮止めミシンします。フード(裏)の上に、衿ぐり始末用バイアステープを、裏を上にして乗せます。フード口始末と同様に端から1cmを中縫いします。縫い代は0.5cmに切りそろえ、カーブの強いところは1cm間隔くらいで切り込みを入れます。



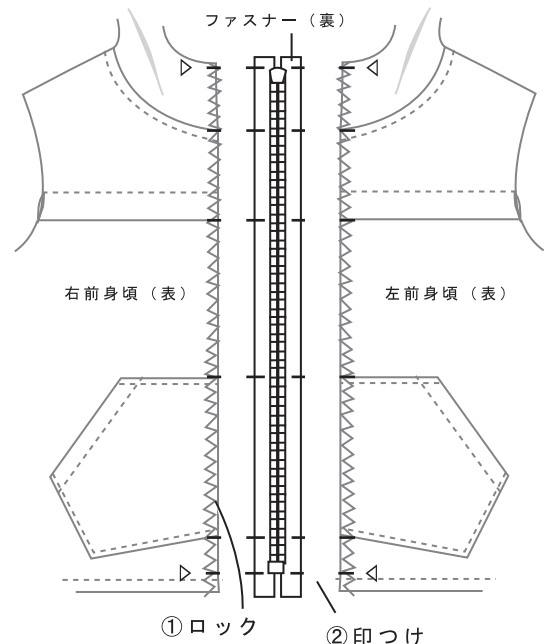
フード口始末と同様に、バイアス布で衿ぐりの縫い代を包むようにします。包んだ時に0.7cm巾くらいになるようにバイアス布の巾を調整し、コバステッチで縫いとめます。



9 ファスナーつけ

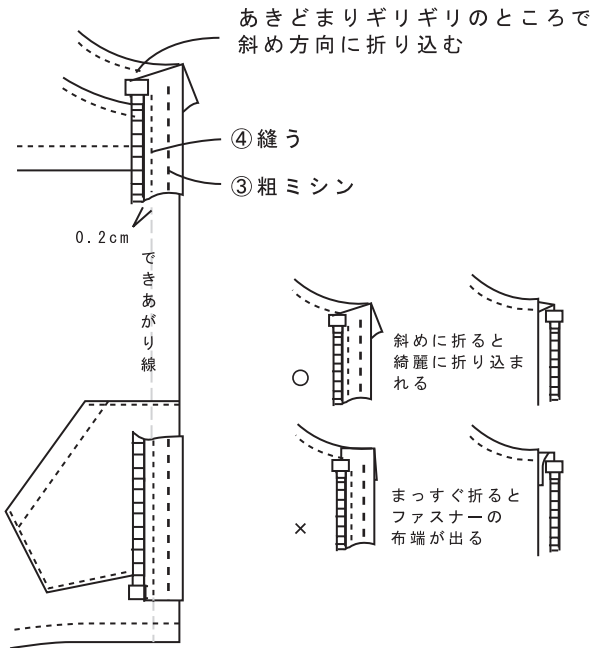
最初に前端をロック始末します。ファスナーは、左右のムシ(噛み合う部分)の位置(高さ)をきちんと合わせなければ、左右の身頃がずれた状態で仕上がります。前中心で、ポケット位置、タック位置など高さが合わないととても目立ちます。

長さのあるファスナーをつける場合は、ファスナーの明きどまり位置以外にも、複数の合い印をつけるのがおすすめです。



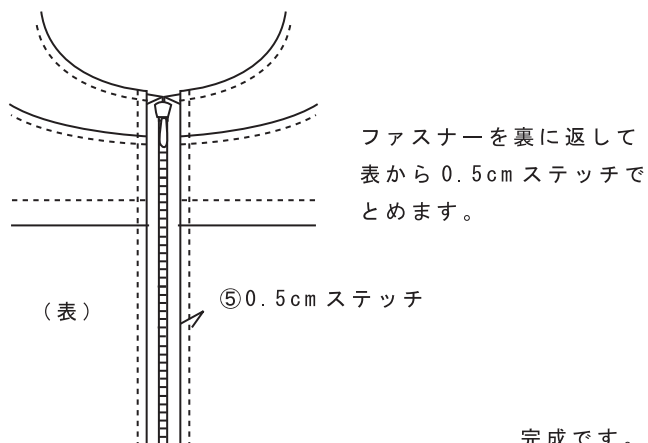
身頃を表、ファスナーを裏にした状態で、高さを合わせて上図のように置きます。身頃の縫い代をファスナーそれぞれに、印をつけていきます。この印はチャコが作業しやすいでしょう。

前身頃の出来上がり線に、ファスナーの虫の2mm外側を合わせて、出来上がり線より5mm外側を粗ミシンで縫い合わせます。ここで一旦左右対称を確認し、左右対称になっていれば、出来上がり線を本縫いします。



ファスナーは、メーカーや種類、太さによって、生地部分の巾が違います。前身頃の出来上がり線に、ファスナーのムシの2mm外側を合わせると、ファスナーの生地端が、見返しから出たり引っ込んだりしますが、問題ありません。

ファスナー側を上にして縫うとずれにくいですが、押さえ金はファスナー用（片押さえ）をご使用ください。途中、スライダー（ファスナー上げ下ろしをするつまみ）が邪魔になるため、針を落としたまま一旦押さえ金を上げ、スライダーを移動させてから続きを縫います。



完成です。